

特別の教育課程の編成方針などに関する情報

【ダブルディプロマコース】

文化学園大学杉並中学・高等学校

現代社会において、あるいは中等教育の一翼を担う学校として、グローバル化時代に対応できる人材の育成は必須のものである。本校の教育方針にも「国際力の育成」「人間力の育成」を掲げており、さらには「STEAM教育」への積極的コミットを通じて学際的で有機的な学びの実現を目指している。カナダ・ブリティッシュコロンビア州（以下 BC 州）の教育を取り入れたのは、主として「言語技術」「科学リテラシー」「グローバルな価値観」「智慧」を育成するにあたって最適であり、有効であると考えためである。よって、BC 州カリキュラムで履修する一部を日本の単位としてみとめ、デュアル・カリキュラムを導入することとした。

BC 州カリキュラムで履修する一部を日本の単位として認めるものは、下記の通りである。

記

中学 1 年

- ・ 数学（日本単位数 3）を週 3 時間日本の数学、5 時間を BC 州 Mathematics 7 を行う。
- ・ 理科（日本単位数 2）を週 2 時間日本の理科、2 時間を BC 州 Science 7 を行う。

中学 2 年

- ・ 数学（日本単位数 3）を週 3 時間日本の数学、5 時間を BC 州 Mathematics 8 を行う。
- ・ 理科（日本単位数 2）を週 2 時間日本の理科、2 時間を BC 州 Science 8 を行う。

中学 3 年

- ・ 数学（日本単位数 3）を週 3 時間日本の数学、5 時間を BC 州 Mathematics 9 を行う。
- ・ 理科（日本単位数 2）を週 2 時間日本の理科、2 時間を BC 州 Science 9 を行う。

高校 1 年

- ・ 生物基礎（2 単位）は Science 10（週 4 時間）、で読み替える。
- ・ 英語コミュニケーション I（3 単位）及び論理・表現 I（2 単位）は Composition 10 及び Literary Studies 10（週 9 時間）で読み替える

高校 2 年

- ・ 公共（2 単位）は Social Studies 10（週 4 時間）で読み替える。
- ・ 数学 II（4 単位）は Pre-calculus 11 または Pre-calculus 12（週 5 時間）で読み替える。
- ・ 物理基礎（2 単位）は Physics 11（週 4 時間）で読み替える。
- ・ 英語コミュニケーション II（4 単位）及び論理・表現 II（2 単位）は Composition 11（週 9 時間）で読み替える。

高校 3 年

- ・ 数学 B（2 単位）は Pre-calculus 12 または Calculus 12（週 5 時間）で読み替える。

- ・ 必修選択科目の物理（4単位）は Physics 12（週4時間）、で読み替える。
- ・ 必修選択科目の生物（4単位）は Anatomy and Physiology 12（週4時間）で読み替える。
- ・ 英語コミュニケーションⅢ（4単位）及び論理・表現Ⅲ（2単位）は English Studies 12（週5時間）で読み替える。

BC州カリキュラムは、知識の習得よりも、知識の活用方法や得た知識の検証を適切にすることを目的としているため、学習のアプローチが具体的・実際的かつ科学的に行われるため、英語力のみならず、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力なども向上し、グローバル化に対応可能な生徒が育っていると考えられる。

以上

特別の教育課程の編成方針などに関する情報

【イノベーションリーダーズコース】

文化学園大学杉並高等学校

本校は建学の精神「感動の教育」に基づき、生徒個人の主体的な目標設定とその達成プロセスにおける感動体験を重んじながら、教育活動を行ってきた。その教育実践においては生徒主体の学習活動が必要になることから、すべての教科等においてプロジェクト型学習を推進するとともに、企業等外部リソースを活用したプログラムも多く取り入れてきた。また、本校は生徒個人の主体的な目標設定を推進するためコース制を取り、生徒それぞれの希望や特性に合わせた教育活動を行ってきた。中でも、すでに教育課程特例校指定を受けているダブルディプロマコースにおいては、カナダ BC 州の授業を教育課程の取り込み、独自のグローバル環境を整備している。その影響で、本校にはグローバル視点を有する生徒が多く在籍している。

以上のような背景の中、このたび新コース「イノベーションリーダーズコース」を新設した。社会で求められるコンピテンシーを高度に伸ばさせること、企業等と連携することで社会のリアル・最前線に触れながら学ぶことが主な特徴である。この取り組みは前述の背景を有する本校だからこそ実践できるものであるとともに、日本の中等教育における新しい学びのロールモデルとして社会的な意義を果たしうると考えている。

このコースでは、「生み出す力・巻き込む力・形にする力を有するイノベーションリーダーの育成」をその教育目標として掲げ、社会のリアルや最先端を学ぶうる教育課程の開発を目指している。新設教科等においては、従来の教科等の内容を基盤としつつ、教科の知識・技能社会でどのように生かされているか、生かすべきかを企業・大学・NPO・自治体等と連携したプロジェクト型学習を通じて学習する。

学校設定科目のうち、下記の科目を教育指導要領上の単位として読み替える。

記

- ・ 国語表現（4単位）は、3年をかけて「エクスプレッション（計4単位）」で読み替える。
- ・ 論理・表現Ⅰ（2単位）は、1年次に「サステナビリティ（2単位）」で読み替える。
- ・ 論理・表現Ⅱ（2単位）は、2年次に「サステナビリティ（2単位）」で読み替える。
- ・ 情報Ⅱ（2単位）は、2年次に「AIと情報リテラシー（2単位）」で読み替える。
- ・ 英語コミュニケーションⅡ（4単位）は、2・3年次に「グローバルシティズンシップ（計4単位）」で読み替える。
- ・ 政治経済（2単位）は、3年次に「アントレプレナーシップ（2単位）」で読み替える。
- ・ 以下は選択科目として、2・3年次に履修した者のみ読み替えを行う。
 - ▶文学国語（4単位）：「人間科学（4単位）」
 - ▶世界史探究（4単位）：「人文社会（4単位）」
 - ▶物理基礎（2単位）：「工学（4単位）」
 - ▶生物基礎（2単位）：「自然科学（4単位）」